

令和3年度普及指導計画



おおさき

～大きい輪，和，話～



宮城県大崎農業改良普及センター

表紙写真の説明

左上 遮熱剤の効果検討 プロジェクト課題No. 1 (大崎市)	右上 えだまめ剪葉検討会 プロジェクト課題No. 2 (大崎市)
左下 ぶどうの摘取り農園 プロジェクト課題No. 3 (大崎市, 色麻町, 加美町)	右下 高収益作物期待の白菜 プロジェクト課題No. 4 (大崎市)

目 次

	(頁)
I 令和3年度普及指導方針	1
II 普及指導員活動計画	4
(1) プロジェクト課題一覧表	4
(2) プロジェクト課題計画	5
(3) 調査研究一覧	13
III 普及センターの活動等	14
(1) 普及センター活動一覧表	14
イ 重点活動	14
ロ 一般活動	15
(2) 展示ほ・実証ほ等設置計画	19
(3) 各種情報調査計画	21
IV その他	23
(1) 管内で実施される主な事業と 普及センターの役割分担	23
(2) 職務分担	29
V 参考資料	33
(1) 地域の概況	33
(2) 普及センターの組織体制	39

I 令和3年度普及指導方針

当管内は宮城県北西部の「大崎耕土」に位置し、大崎市（旧田尻町，旧松山町，旧鹿島台町を除く），色麻町，加美町の1市2町を範囲としている。西部には奥羽山脈の麓となる丘陵地域，東部には平坦地域が広がり，良質米産地と県水稻生産を支える種子産地，県内最大の大豆産地を有する穀倉地帯であり，また肉用牛や酪農をはじめとする畜産が盛んで，園芸分野でも，なす・ねぎ等が県内最大の産地となっている豊かな農業地域である。

平成29年12月，「大崎耕土」は国連食糧農業機関（FAO）から，先人達が育ててきた相互扶助の水管理，農村文化，自然との共生等による水田農業のシステムが高い評価を受け「世界農業遺産」に認定された。このことは，まさに「郷土の誇り」であると同時に，水田農業システムを，今後とも社会環境の変化に適応しながら発展的に継承していく必要がある。

現在，農業・農村を取り巻く情勢は，国際的な貿易交渉をはじめとする経済環境の変化に加えて，当管内も他の農業地域と同様，農業従事者の高齢化や担い手の減少，耕作放棄地の増加，野生鳥獣被害の拡大が問題となっている。特に，管内の過半を占める中山間地域においては特に深刻さを増していることから，地域を支える多様な人材の確保，活躍に向けての取組が必要である。

一方当管内では，なすの環境制御技術への取組や，たまねぎ・キャベツ・ねぎ・えだまめ等の機械化導入による水田フル活用の動き，直売所等と連携した，ぶどうの販売量拡大，さらに中山間地域において，ほ場整備を契機とし地域営農の活性化を目指す取組が始まっている。

大崎地域の農業者が地域農業を再興し持続的に発展するためには，これらの意欲ある農業者の取組を具現化，定着し，地域内へと広げる必要がある。このため普及センターは，市町やJAをはじめとする関係機関と密接に連携しながら，以下を重点活動項目として効率的・効果的に普及指導活動を展開する。

重点活動項目

- 1 大崎の農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化
- 2 園芸振興を核としたバランスのとれた生産構造への転換
- 3 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給
- 4 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

1 大崎の農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

- (1) 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援
- ① アグリビジネス経営体の育成に向けて，販路の開拓，規模拡大や経営の多角化等，新たな経営展開の取組を支援する。
 - ② 人・農地プランの中心経営体への農地集積・集約化，地域の核となる担い手の育成及び集落営農組織の法人化など関係機関と連携して支援する。
 - ③ 経営の改善・発展に取り組む農業者の経営改善計画作成及び目標達成に向けた取組を支援する。
 - ④ 意欲ある農業者の経営の効率化や安定化，高度化等のため，宮城県経営相談所等の支援機関と連携し，経営改善に向けた取組を支援する。
 - ⑤ 農業法人等における農業経営の円滑な継承を支援する。

(2) 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- ① 認定新規就農者，就農希望者，新規参入者の確保及び定着を支援する。
- ② 女性農業者ネットワークの強化及び主体的な農業経営の取組に向けた家族経営協定締結を支援する。
- ③ 多様な働き手の確保に向けた体制づくりと併せ，雇用就農希望者と農業法人等とのマッチングや農福連携の取組を支援する。
- ④ 農業士や農業者教育施設，試験研究機関との連携により先進的な農業技術に対応できる知識や技術の習得及びリーダーとなる人材を育成・支援する。

(3) 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- ① 試験研究機関や民間企業等との連携を図り，アグリテック（農業に，スマート農業技術を含むICT（情報通信技術）等の生産技術を導入することで，省力，軽労化を図るなどの課題を解決すること。）など先端技術の導入及び定着化による経営の効率化，生産性の向上を支援する。
- ② ICT等を活用する農業者や研究機関等との情報共有等，最新技術の情報収集と活用に向けたネットワーク活動の取組を支援する。
- ③ ドローン等の先端技術を活用した次世代型農業支援サービスの活用促進による省力化や経営改善を支援する。
- ④ 農業者等の有する知的財産の保全や活用を支援する。

2 園芸振興を核としたバランスのとれた生産構造への転換

(1) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

- ① 環境制御技術等の先進技術を導入した施設における収量・品質の向上を支援する。
- ② 大区画ほ場を活用した加工・業務用野菜などに取り組み経営体の栽培技術定着と効率的な作業体系確立に向けた取組を支援する。
- ③ 野菜指定産地等既存の園芸産地の維持・拡大による安定供給体制強化を支援する。
- ④ 多様なニーズに対応した伝統野菜や地域の特産野菜，花き，果樹等，特色ある園芸品目の生産拡大を支援する。

(2) 収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援

- ① ほ場整備事業と連動した高収益作物の導入促進と生産体制の構築を支援する。
- ② 水田フル活用に向けた省力・低コスト技術の導入・定着を支援する。
- ③ 地域ブランド米（東北194号：ささ結，ささゆた香）等の特色ある多彩な米づくりを支援する。
- ④ 米の省力化技術の普及による生産コストの削減，作期分散，多収性品種に対応した栽培技術の確立等を支援する。
- ⑤ 実需者が求める大豆・麦類の品種作付や，収量・品質の向上，省力化技術の導入による生産コストの削減を支援する。
- ⑥ 畜産経営の規模拡大と収益力の強化，自給飼料生産基盤の有効活用を図るため，牧草，飼料用稲等で多収性が見込める奨励品種の普及拡大を支援する。

3 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給

(1) みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援

- ① 種子生産に関する審査・指導を通じた主要農作物の優良種子生産を支援する。
- ② 消費者と農業者の交流等を通じた食と農に関する相互理解の推進や地産地消など，

地域食材を活用した取組を支援する。

③国際水準の農業生産工程管理（GAP）やトレーサビリティを導入する農業者の取組を支援する。

④農薬登録情報等の迅速で正確な提供による農薬等の適正使用を推進する。

⑤農産物における放射性物質のモニタリングと情報提供を行う。

（２）多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援

①食の外部化・簡便化に対応した，実需者が求める農畜産物の拡大に向けた技術指導及び産地形成を支援する。

②安定供給に向けた地域間連携や一次加工業者，飲食店など実需者とのコーディネート等，食のバリューチェーンの構築に向けた取組を支援する。

4 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

（１）地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援

①地域資源を活用した特産品づくりや民間企業との連携による新たなサービスの開発など，雇用の創出と所得確保に向けた「なりわい」創出を支援する。

②多様な地域資源を活用した農業体験や農泊などによる都市と農村の交流活動の促進と，農業・農村の魅力の発信を支援する。

（２）関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

①人・農地プランの実践など集落内の合意形成を推進し，地域農業の維持・発展に向けた地域営農システムの構築を支援する。

②地域ぐるみで行う野生鳥獣被害防止対策やICTを活用した捕獲技術等効率的な取組を支援する。

③遊休農地（耕作放棄地）の有効利用に向けた取組を支援する。

（３）環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

①近年の異常気象や地球温暖化に対応するための品種・品目転換を含めた生産安定技術の導入，適切な病虫害防除体系の確立など，新たな営農システム構築を支援する。

②総合的病虫害・雑草管理（IPM）技術等，環境に配慮した栽培管理体系の導入と定着を支援する。

③家畜排せつ物等の農業副産物を適切に堆肥化し土づくりに活かす耕畜連携農業の導入と定着を支援する。

④「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」等に取り組む農業者への技術支援を行う。

⑤生物多様性の保全や有機農業に取り組む農業者への技術支援を行う。

（４）大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援

①復旧農地における農作物の安定生産に向けた支援を行う。

②自然災害等のリスクに備えるため，異常気象にも対応した品種や栽培技術の導入，農業用ハウスの保守管理の徹底，農業収入保険等の加入促進，事業継続計画（BCP）の普及など，災害に備えた取組と，早期営農再開に向けた支援を行う。

③新型コロナウイルス感染症等新たな脅威に対応できる農業経営の継続に向けた支援を行う。

④新しい生活様式に対応した生産・販売方式への転換に向けた支援を行う。

II 普及指導員活動計画

(1) プロジェクト課題一覧表

No	プロジェクト課題名	計画期間	対 象 (対象農家・地域名等)	進行管理担当班 ◎リーダー 担当者名
1	大崎園芸を牽引するなすの技術革新による生産性向上 「園芸振興」 「アグリテック」関連課題 (継続)	令和2年度 ～ 令和3年度	J A古川管内施設なす生産者 個別経営体(3人) 法人経営体(1法人) [大崎市]	先進技術班 ◎永田 悦祈 佐藤 聖一 千葉 正典 菊池 光洋
2	「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成 「園芸振興」 関連課題 (新規)	令和3年度 ～ 令和4年度	J A古川管内2組織 法人経営体(1法人) 任意組合(1組織) [大崎市]	先進技術班 ◎松田 智哉 佐藤 一良 佐藤 泰久 後藤 佳彦
3	直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売 「園芸振興」 「持続可能な農業・農村構築」 関連課題 (新規)	令和3年度 ～ 令和4年度	J A加美よつば 個別経営体(5人) あ・ら伊達な道の駅出荷者 個別経営体(13人) [大崎市, 色麻町, 加美町]	地域農業班 ◎大森 裕俊 長谷部 幹 石黒 裕敏 津田 花愛
4	下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展 「農地中間管理事業」 「園芸振興」 「持続可能な農業・農村構築」 関連課題 (新規)	令和3年度 ～ 令和4年度	下真山地区担い手候補者 法人経営体(1法人) 個別経営体(12人) [大崎市]	地域農業班 ◎石川 亜矢子 佐藤 昌幸 漆山 喜信 門脇 正好

(2) プロジェクト課題計画

課題No. 1			
課題名：大崎園芸を牽引するなすの技術革新による生産性向上 「園芸振興」関連課題 「アグリテック」関連課題			
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象者数	J A古川なす部会施設なす生産者3人, (株)てくてくファーム, (部会員40名)		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市は夏秋なすの指定産地で、なすは重要な園芸品目となっている。平成29年の県産なすの販売金額11.5千万円のうち、大崎市はその65%を占めており、生産はJ A古川なす部会と(株)てくてくファームが大部分を担っている。 ・J A古川なす部会は施設なすが主体で面積は3.4ha、生産者は40名であり、販売金額1億円を目標に生産振興に努めている。しかし、なす部会では平均収量8 t / 10 a を目標としているのに対し、現状では6.7 t / 10 a 程度で目標販売金額に届いていない。平成25年に設立された(株)てくてくファームは、施設なす50 a を基幹品目としているが、現状の栽培管理では収量が伸び悩んでいる。部会も含め収量伸び悩みの要因として、長年の連作の影響による土壌病害の多発や、勘や経験に頼った栽培管理が挙げられる。 ・土壌病害対策として「トルバム・ビガー」、「台三朗」等の抵抗性台木による防除が普及しているが、栽培管理が難しく台木のみでは防除効果が不十分で新たな対策技術が求められており、土壌消毒や高接ぎ台木等の複数の防除技術を組み合わせた体系防除に取り組む必要がある。 ・先進地では環境の見える化とそれに基づく環境と栽培管理の改善により、収量と品質を向上させる環境制御が有効とされており、夏秋なすでの環境条件を明らかにし、環境改善やかん水等の栽培管理改善に取り組むことで、収量の増加が見込める。 <p>(前年度までの実施状況と今後の改善方向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青枯病対策として、土壌消毒と高接ぎ台木を組み合わせた体系防除を実施したが、前年度より発病率は上昇し、収量は減少した。一方、試験導入した新台木トナシムでは発病率が慣行台木より低くなった。今後は、新台木トナシムの利用、作業用ハサミの消毒による感染防止とともに、新規土壌還元消毒を行い、青枯病発病の抑制を図る。 ・環境測定機器の設置によるハウス環境の把握と改善、かん水量調査によるかん水方法の改善、遮熱資材による高温抑制効果の検討を行った。また、民間専門家を講師とした勉強会や対象者のほ場巡回を実施し、こうした取組により自ら環境測定機器を導入する対象者もみられた。今後はリアルタイムで環境データを確認しながら、なすの栽培管理改善を支援する。 		
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的な土壌病害対策が実施され、収量と品質が向上する。 ・環境の見える化により栽培管理のP D C Aサイクルが定着し、客観的な栽培管理ができるようになる。 		
県実施方針上の関連項目	1 - (3) 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援 1 - (4) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援		
地域基本方針上の関連項目	1 - (3) 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援 2 - (1) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援		
担当チーム員	◎永田 悦祈, 佐藤 聖一, 千葉 正典, 菊池 光洋	担当班及び 進行管理責任担当者	先進技術班 佐藤 一良
令和3年度			
成果指標	定性的目標 ・体系的な土壌病害対策が実施され、収量と品質が向上する。 ・環境の見える化により栽培管理のP D C Aサイクルが定着し、客観的な栽培管理ができるようになる。		
	定量的数値目標 ・対象生産者の平均収量7.7 t / 10 a (R元年) → 8.1 t / 10 a (R2年) → 8.5 t / 10 a (R3年) (実績 6.6 t / 10 a)		
活動指標	定量的数値指標 (合計総現地活動日数 105日) 活動事項 ・土壌病害対策の実践支援 (26日) ・環境データを踏まえた栽培管理の改善支援 (79日)		
関係機関の主な役割分担項目 J A古川 (営農指導), (株)誠和 (技術支援), (株)レディシステムジャパン (技術支援) 農業・園芸総合研究所 (情報提供, 菌密度調査)			
関連事業名と役割			

課題No. 2			
課題名 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成 「園芸振興」関連課題			
計画期間	令和3年度～令和4年度		
対象名及び対象者数	農事組合法人大地・西荒井（構成員7名）、斎下生産組合（組員7名） 2経営体（JA古川えだまめ生産者9経営体）		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・えだまめは近年他産地の生産者の高齢化に伴い生産量が減少傾向にあり、市場等の要望を受け、大豆産地であるJA古川が5年前から作業機械や栽培技術などの有利性を活かして、地域の大豆生産者と一緒に生産拡大に取り組んでいる。令和2年度には生産者11経営体、栽培面積12ha、10a当たりの収量は早生品種223kg、中生品種228kg、晩生品種360kgとなっている。 ・えだまめは、みやぎ園芸振興プランにおける大崎地域の地域振興品目にも位置づけ、地域として生産振興を目指すとともに、対象経営体においては、引き続き水田を活用した高収益作物として栽培面積の拡大や生産性の向上に取り組むことにしている。今後、JA及び生産者は、市場の需要期を通じて安定的に出荷するため、早生から晩生品種を組み合わせることにより出荷時期の分散を図るなど、産地化に向けた取り組みを検討しており、将来的に生産拡大が図られれば「えだまめ部会」の設立も期待できる状況にある。 ・栽培における最大の課題は、難防除雑草と病虫害被害で、特に収穫前に雑草の手取りが必要になるなど品質低下や作業の遅れに繋がっており改善が必要である。また、産地として市場に認知してもらうためには、出荷量の増大が求められており、そのため生産性の向上や安定化に向けた、えだまめ独自の栽培技術の習得が必要である。 ・作付面積拡大のためには、農業経営に優位性があることを理解してもらうため経営指標を作成し、農業者等へ説明することで、栽培面積の拡大や新規栽培者の確保を図る。加えて生産者の収益を高めるため、販売戦略を構築し、販売力の強化と有利販売に向けた取り組みが必要である。 		
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水田作におけるえだまめの栽培技術が確立し、出荷量が増加する。 ・需要期を通して安定してえだまめを出荷する「産地化」ができる。 		
県実施方針上の関連項目	1－（4）園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援		
地域基本方針上の関連項目	2－（1）園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援		
担当チーム員	◎松田智哉 ， 佐藤一良 佐藤泰久 ， 後藤佳彦	担当班及び 進行管理責任担当者	先進技術班 佐藤一良
令和3年度			
成果指標	定性的目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各作型の基本的な栽培技術を習得する。 ・経営指標を作成することで、新規作付の推進や既存経営体の適切な品種選定が可能となる。 		
活動指標	定量的数値目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・対象経営体の出荷量合計をR3：5%増，R4：10%増 6.7t（R2） → 7.0t（R3） → 7.3t（R4） 		
活動指標	定量的数値指標（合計総現地活動日数 88日）		
	活動事項		
	<ul style="list-style-type: none"> ・古川えだまめ栽培技術確立支援（58日） （新規早生品種の調査、葉面散布による増収技術の定着、雑草防除体系の確立） ・古川地域における経営指標の作成（22日） ・古川えだまめ販売力強化に向けた活動（8日） 		
関係機関の主な役割分担項目			
JA古川（営農指導，販売促進），農業・園芸総合研究所（技術支援）			
関連事業名と役割			

課題No. 3					
課題名 直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売 「園芸振興」「持続可能な農業・農村構築」関連課題					
計画期間	令和3年度～令和4年度				
対象名及び対象者数	管内シャインマスカット導入者18人（JA加美よつば組合員5人，あ・ら伊達な道の駅出荷組合員13人）				
課題の背景	管内ではぶどうは4.1ha生産されており，主に水稻育苗ハウスを活用し，もぎ取り園や農産物直売所で販売されている。また，近年新植する生産者が増えており，他の果樹の栽培面積が減少傾向にあるなか，微増傾向にある。 JA加美よつばでは果樹の生産振興を図っており，これまで開催した講習会等へ参加者も相当数あるものの，直売所等への出荷者は少ない状況にある。すでに10万円以上を販売している組合員もおり，さらなる生産者の増加に向けて誘導を図っていく必要がある。 JA管内の直売所では，需要のあるぶどう販売をすることで売上増加につながり，地元の町としても，出荷者が増加して活性化に繋がる品目として期待している。 また，あら伊達な道の駅では近年人気の品種「シャインマスカット」等の購入需要は高いものの，生産・出荷が少ない状況にあり，直売所として生産支援活動を始めており，販売するものの品質向上策も必要と感じている。対象者のシャインマスカット導入年数は，5年以上から初めて導入する人までと幅がある。				
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> ぶどうの生産拡大に向け，生産と販売が一体となった取組が強まる。 農業者の果樹生産による収益向上が図られる。 				
県実施方針上の関連項目	1-(4) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 2-(1) みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援 3-(1) 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援				
地域基本方針上の関連項目	2-(1) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 3-(1) みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援 4-(1) 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援				
担当チーム員	<table border="1"> <tr> <td>◎大森 裕俊 石黒 裕敏</td> <td>長谷部 幹 津田 花愛</td> <td>担当班及び 進行管理責任担当者</td> <td>地域農業班 漆山 喜信</td> </tr> </table>	◎大森 裕俊 石黒 裕敏	長谷部 幹 津田 花愛	担当班及び 進行管理責任担当者	地域農業班 漆山 喜信
◎大森 裕俊 石黒 裕敏	長谷部 幹 津田 花愛	担当班及び 進行管理責任担当者	地域農業班 漆山 喜信		
令和3年度					
成果指標	定性的目標 <ul style="list-style-type: none"> JAと栽培者が協同して栽培管理と販売を行い，直売所への出荷経営体が増加する。 新たな栽培者が増加し，栽培者の組織化が行われるとともに，販売するぶどうの品質が向上する。 定量的数値目標 R2 → R3 → R4 ・直売所へのシャインマスカット出荷者数（18人中） 1 4 8人				
活動指標	定量的数値指標（合計総現地活動日数）62日 活動事項 既栽培者の状況把握と技術支援 (32日) 新規栽培誘導と技術支援 (20日) 販売に向けた問題把握 (10日)				
関係機関の主な役割分担項目 JA加美よつば，あ・ら伊達な道の駅：対象者との連絡調整，連携した技術支援，生産物販売誘導					
関連事業名と役割					

課題No. 4			
課題名：下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展 「農地中間管理事業」「園芸振興」「持続可能な農業・農村構築」関連課題			
計画期間	令和3年度～令和4年度		
対象名及び対象者数	下真山地区担い手候補者13経営体（法人経営体1法人，個別経営体12人）		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の大崎市岩出山下真山地域は不整形で未整備の水田が多く，大型機械の乗り入れができないなど，効率的な営農の妨げとなっている。また，この地域には若い担い手候補が多く，隣接する大坪地区や清滝地域からの受託が年々増加しており，農地整備の実施による効率的な作業体系の構築が必要である。 ・平成30年4月に「下真山地区ほ場整備事業推進委員会」が設立され，地域農業の青写真となる農村地域活性化ビジョンを令和2年7月に作成，11月に農地整備事業に係る調査受託が決定し，次年度から調査が開始され，2カ年をかけて地区の営農ビジョンとなる促進計画を策定し，令和6年度の事業採択を目指している。導入予定事業は農業競争力強化農地整備事業で，工期が令和6～11年度の6ヶ年で計画しており，担い手への集積を平成30年実績の38.75ha（47.1%）から令和10年に66.45ha（80.7%）へ向上させる目標を掲げている。 ・現状の下真山地区は黄金田一部，黄金田二部，小坪の3集落から構成され，受益面積82.3ha，受益者71人であるが，これを将来にわたり継続的に地域農業を担う農業者に集積し，担い手を中心とした新たな営農システムの構築が必要である。現在，法人1経営体を含む13経営体の担い手候補があり，このうち2経営体で新たに法人化の意向を示している。 ・農村地域活性化ビジョンが作成されたものの，担い手候補の中には農地整備事業に対する理解度に差があり，また集落内ワークショップや先進地視察が行われているものの，親世代の参加がほとんどで担い手候補本人の参加が少ない。 ・事業要件である高収益作物の取組は，既に個別経営体に取り組んでおり，今後更に拡大の可能性はあるものの，イノシシ等の被害も拡大傾向にあり早急に地域ぐるみでの野生鳥獣被害対策の取組が必要である。 		
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への集積と集約化へ集落の話し合いが進み，営農ビジョン実現の見通しが立てられる。 ・高収益作物が選定され，栽培技術習得が図られる。 		
県実施方針上の関連項目	1－（1）先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 1－（5）収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援 3－（2）関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援		
地域基本方針上の関連項目	1－（1）先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 2－（2）収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援 4－（2）関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援		
担当チーム員	◎石川亜矢子，佐藤昌幸，漆山喜信，門脇正好	担当班及び 進行管理責任担当者	地域農業班 漆山喜信
令和3年度			
成果指標	定性的目標 ・新たな地域営農体制が構築される（担い手の明確化，法人化，高収益作物への取組）		
	定量的数値目標 ・法人設立数 R 2 : 1 → R 3 : 2 → R 4 : 3		
活動指標	定量的数値指標（合計総現地活動日数 114日）		
	活動事項 ・地域営農の担い手育成 （54日） ・高収益作物の栽培支援 （60日）		
関係機関の主な役割分担項目 北部地方振興事務所農業農村整備部（基盤整備事業推進），大崎市（基盤整備事業推進，鳥獣害対策），農地中間管理機構（農地集積，利用権設定），経営相談所（専門家派遣），JA新みやぎ岩出山支所（営農指導）			

関連事業名と役割

農業競争力強化農地整備事業、農地中間管理事業、農業経営者総合サポート事業（農業経営相談所）
地域農業担い手育成支援事業

(3) 調査研究一覧

調査研究課題名	内 容	対象地域 対象農家	担 当 者
1 肉用牛における枝肉の一価不飽和脂肪酸含量等の実態調査と成分向上の検討	枝肉の一価不飽和脂肪酸含量等の実態調査を行い、この成分を高める飼料給与や遺伝子評価を用いて、牛肉のおいしさ成分の向上を検討する。	J A肉牛部会等 (大崎市, 色麻町, 加美町)	石黒 裕敏
2 キュアリングによるカボチャの高付加価値化	カボチャへのキュアリング処理について温度条件や貯蔵期間を変え、食味に優れた最適な貯蔵体系を検討する。また、3種類の品種を比較し、地域特性を調査する。	大崎市下真山地域 生産者 (大崎市)	漆山 喜信 石川亜矢子 菊池 光洋
3 J Aが管理するぶどう(ハウス)の講習会等への有効利用検討	令和3年4月1日からJ Aが借用する鉄骨ハウスにはぶどうが栽培されていることから、J Aと連携し、有効利用できるように検討する。	ぶどう栽培を志向するJ A加美よつば組合員 (色麻町, 加美町)	大森 裕俊
4 赤色LEDを使用した露地電照栽培による夏秋ギクの計画出荷の検討	耐候性赤色LEDの暗期中断により、農園研が選抜した切り花品質に優れ、高温開花性を有するキクについて、消灯日から開花日までの到花日数を把握する。	大崎市岩出山地域 花き生産者 (大崎市岩出山)	津田 花愛
5 水稲種子生産法人におけるスマート農業技術導入効果の検証	スマート農業による作業の効率化と経営評価を検証する。特に、異株抜きの軽労化につながる直進アシスト田植機と自動操舵付き除草機は作業精度も検証する。	農事組合法人いかずち (加美町)	佐藤 一良 門脇 正好
6 大豆生産法人の反収向上による経営安定	大豆反収が低迷している法人に対し、排水対策や施肥指導など基本的な管理技術の励行により減収幅を抑制できるかを検証し、反収向上と経営の安定化を図る。	農事組合法人大地・西荒井(大崎市) 農事組合法人アグリ神明(加美町)	佐藤 泰久
7 大豆畑における堆肥投入に係る地力改善効果の検討	地力低下による大豆の収量低下が問題となっているため、近隣の畜産農家とマッチングを図り堆肥投入による地力改善効果の検討を行う。	大崎市岩出山地域 大豆生産者 (大崎市岩出山)	千葉 正典 後藤 佳彦
8 新規台木と糖蜜吸着資材を使った土壌還元消毒によるなす青枯病防除効果の検討	新規の青枯病抵抗性台木「トナシム」による青枯病発病率を調査するとともに、近年開発された糖蜜吸着資材を使った土壌還元消毒を実施し、これら技術の青枯病防除効果を検討する。	施設なす生産者 (大崎市)	永田 悦祈
9 えだまめの増収及び機械収穫適性に係る検討	倒伏が心配される晩生品種における葉面散布資材の増収効果の検討と着莢位置の低い早生品種における生育及び収穫ロスを調査し、機械収穫の品種適性を検討する。	J A古川管内えだまめ生産者 (大崎市)	松田 智哉

Ⅲ 普及センターの活動等

(1) 普及センター活動一覧表

イ 重点活動

活動項目	目的及び内容	対 象	担 当 班
新規就農者の早期 経営安定化	<p>(目的) 地域の担い手が減少する中、新規就農者を確保・育成することにより、新たな担い手としての定着を図る。</p> <p>(内容) ①確保 ・各種支援制度の活用相談受付 ・就農時の経営計画（営農計画、資金計画、資金繰計画等）の作成支援 ・関係機関（市町村、JA、農業高校、農業大学校等）との連携による総合サポート ②育成 ・支援制度活用者への現地巡回による状況確認、技術指導、経営安定化支援 ・未来塾等研修会の開催による栽培技術、経営管理能力向上支援 ・支援制度終了後に備えた経営計画作成支援</p>	<p>就農希望者 認定新規就農者 農業次世代人材投資事業活用者 青年等就農資金借受者等</p>	<p>地域農業班 先進技術班</p>
ねぎの生産安定技術の向上	<p>(目的) 管内のねぎ生産は、既存生産者の高齢化が進む一方で、農業法人や新規就農者により作付が拡大傾向である。4Hクラブ員等、若手生産者にもねぎ生産者が多いが、単収の低い生産者もみられるため、生産安定技術の向上を図る。</p> <p>(内容) ・土壌分析に基づいた適正施肥 ・病虫害防除の徹底 ・栽培講習会、巡回指導等での基本栽培技術の習得支援</p>	<p>JA古川、JA加美よつば管内 ねぎ生産者</p>	<p>先進技術班</p>

活動項目	目的及び内容	対 象	担 当 班
米のブランド化推進のための生産安定化	<p>(目的)</p> <p>「みやぎ米ブランド化戦略」を推進するため、新品種だて正夢や金のいぶき、当管内の地域ブランド米である東北194号（ささ結、ささゆた香）やゆきむすび（以下、だて正夢、金のいぶき等）の高品質安定生産、需要拡大が重要である。そこで、だて正夢、金のいぶき等の栽培技術の確立、生産販売体制の構築を支援する。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だて正夢、金のいぶき等に関する実証ほの設置、生育状況に関する情報提供、現地検討会の開催 ・市町、JA等と連携しただて正夢、金のいぶき等に関する認知度向上・販路拡大に向けた取組支援 	だて正夢、金のいぶき、東北194号（ささ結、ささゆた香）、ゆきむすび生産者	先進技術班

ロ 一般活動

活動項目	内 容	対 象	担 当 班
(1) 売れる米づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の励行及び生育状況に応じた適期作業の支援 ・適切な雑草対策支援 ・基盤整備直後田や復元田の栽培技術支援 ・直播栽培等省力化技術の向上支援 	水稻生産者	先進技術班
(2) 麦・大豆の高品質安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策等の基本技術の励行及び生育状況に応じた適期作業の支援 ・適切な雑草対策支援 	麦・大豆生産組織	先進技術班
(3) 水稻・麦・大豆の優良種子の生産	<ul style="list-style-type: none"> ・種子生産ほに係る事務の実施 ・現地確認、ほ場審査、生産物審査の実施 ・優良種子安定生産に向けた栽培技術支援 	水稻種子生産組合、麦、大豆種子生産組織及び生産者	先進技術班

活動項目	内 容	対 象	担 当 班
(4)野菜の安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜，露地野菜の栽培管理支援 ・総合的病害虫・雑草管理技術の向上支援 ・加工・業務用野菜の機械化体系導入支援 ・環境制御技術の向上等支援 	野菜生産者，JA等各野菜生産部会，野菜生産法人	先進技術班
(5)花きの安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理技術の徹底等による商品性向上支援 ・燃油価格高騰対策等コスト削減に向けた技術支援 	花き生産者	先進技術班
(6)果樹の安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・品質向上に向けた栽培管理支援 ・組織活動の活性化支援 ・新規品目の導入支援 	加美郡りんご協議会 果樹生産者	先進技術班
(7)地域特産作物の安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・エゴマ，そば，薬用植物等の生産性向上支援 	色麻町えごま栽培推進協議会，大崎市鳴子地区そば生産組織 加美町そば生産者，薬用植物研究会等	先進技術班
(8)生乳の生産技術向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術導入農家に対する経営・技術等の支援 ・牛群検定成績やボディコンディションスコアを利用した飼料給与等飼養管理の支援 	牛群検定加入農家，酪農家	先進技術班
(9)肉用牛生産技術向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛の改良対策支援 ・繁殖牛，肥育牛の飼養管理技術向上支援 	和牛改良組合，和牛改良推進組合，若牛会，JA古川肉牛部会，肉用牛農家	先進技術班
(10)良質自給飼料の生産活用支援と飼料自給率の向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料作物・稲ホールクロップサイレージの生産利用支援 ・飼料用米等の生産技術向上・利用拡大支援 ・食品製造副産物の利活用支援 	稲ホールクロップサイレージ生産利用農家，飼料用米生産農家，畜産農家	先進技術班
(11)優れた経営管理能力を持つ経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化に向けた意識啓発と設立支援 ・経営管理能力向上及び経営改善支援 ・ICTを活用した経営管理支援 	認定農業者及び認定志向者，農業法人	先進技術班

活動項目	内 容	対 象	担 当 班
(12) 農業生産工程管理（GAP）の普及推進	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP導入・定着に向けた支援 ・第三者認証GAP取得に取り組む経営体の支援 	認定農業者，農業法人，JA生産部会	先進技術班
(13) 直売所の運営強化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新規品目の栽培及び加工技術支援 ・販売促進に関する支援 	農産物直売組織，直売志向者	先進技術班
(14) 農業者の起業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・許認可計画の作成支援 ・調理及び加工技術等の支援 ・情報提供支援 ・経営管理，販売戦略支援 	農家レストラン，農家民宿，農産加工販売者，起業志向者	先進技術班
(15) 農産物の高付加価値化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農産加工技術及び商品開発の支援 ・農産加工技術情報の提供 	農産加工グループ，生活研究グループ，JA女性部	先進技術班
(16) 持続性の高い環境保全型農業の導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画（エコファーマー認定申請書）の作成支援 ・減農薬減化学肥料栽培・有機栽培への支援 	エコファーマー及び志向農家，減農薬減化学肥料栽培農家，有機栽培農家，各JA	先進技術班
(17) 地域資源循環利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜ふん尿の適正処理の啓発 ・加美町土づくりセンターの運営支援 ・たい肥の利用促進の啓発 	畜産農家，加美町土づくりセンター，耕種農家	先進技術班
(18) 病害虫の適正防除及び適正施肥の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬適正使用による病害虫防除の支援 ・土壌診断等に基づく適正施肥の支援 	農業者	先進技術班
(19) 地域担い手育成・確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営改善計画の達成に向けた経営・技術支援 ・経営所得安定対策の推進 ・認定農業者連絡協議会，地域担い手育成総合支援協議会の活動支援 	各市町	地域農業班
(20) 新規就農者及び就農希望者の技術修得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就農計画書作成支援 ・先進農業派遣研修支援 ・農業大学校，農業高校等との連携 	新規就農者，就農希望者	地域農業班
(21) 青年農業者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・経営，栽培技術の向上支援 ・青年農業者のネットワーク形成支援 ・青年農業者育成に関する研修等実施 	青年農業者	地域農業班

活動項目	内 容	対 象	担 当 班
(22) 学校教育との連携による農業体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 子ども農業体験学習の支援 小中学校における農業体験の推進 	体験受入組織	地域農業班
(23) 農村女性の社会参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 女性起業家キャリアアップ講座の開催 家族経営協定の普及啓発 	生活研究グループ、女性起業家等	地域農業班
(24) 農村青少年クラブの育成	<ul style="list-style-type: none"> 農村青少年クラブの活動支援 	大崎4Hクラブ	地域農業班
(25) 農村生活研究グループの育成	<ul style="list-style-type: none"> 農村生活研究グループの活動支援 	大崎地域及び各市町農村生活研究グループ連絡協議会	地域農業班
(26) 農業士会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 大崎農業士会の活動支援 	農業士	地域農業班
(27) 地域農業の構造改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人・農地プランの策定及び実践支援 農地中間管理事業を通じた担い手への農地集積・集約化の推進 	各市町、農地中間管理事業モデル地区	地域農業班
(28) 地域営農システムの支援	<ul style="list-style-type: none"> 生産組織の育成支援 集落農業の経営安定化支援 	各市町、集落営農組織等	地域農業班
(29) 水田フル活用ビジョンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン策定支援 地域振興作物の栽培・振興支援 	各市町	地域農業班
(30) ほ場整備実施・予定地域営農体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業担い手・組織の育成支援 	ほ場整備事業実施予定地区	地域農業班
(31) 農村地域振興に向けた取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品づくりやグリーン・ツーリズム等交流活動支援 有害鳥獣被害対策の取組支援 	各市町	地域農業班
(32) 中山間地域農業の活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地（耕作放棄地）の活用支援 農業体験交流活動支援 農産物の直売活動，加工商品化の支援 	各市町	地域農業班
(33) 情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 普及センターだよりの発行 ホームページによる情報提供 「宮城の農業普及現地活動情報」投稿 稲作・麦作・大豆作・果樹等技術情報の発行 	農業者，集落営農組織，関係機関等	先進技術班

(2) 展示ほ・実証ほ等設置計画

名称	目的	作物名	設置場所及び担当農家	主な調査項目 調査回数	関連事業
水稲生育調査ほ	定期的な生育調査を通じ、栽培指導上の資料とする	水 稲	大崎市古川 (北部平坦・ササニシキ) 石崎 春比古 大崎市三本木 (北部平坦・ひとめぼれ) ㈱三本木グリーンサービス 色麻町四竈 (北部平坦・つや姫) 小川 昌洋 加美町長清水 (西部丘陵・ひとめぼれ) 天野 勇一郎 大崎市鳴子温泉 (山間高冷・ゆきむすび) 上野 健夫	草丈、茎数、 葉齢、葉色、 出穂期、成熟期、 収量等	水稲生育診断事業
水稲調査基準ほ	生育調査ほに準じて、各地域の栽培指導資料とする	水 稲	大崎市岩出山 (北部平坦・みやこがねもち) 鈴木 実	水稲生育調査ほに準じる	なし
水稲優良品種決定現地調査ほ	生育収量等の調査により、新品種決定の資料を得る	水 稲	加美町小瀬 早坂 行雄 (5系統)	出穂期、成熟期、 収量等	宮城県主要農作物優良品種決定調査要領等
水稲直播栽培技術普及展示ほ	水稲湛水直播栽培技術の実証、普及を図る	水 稲	加美町米泉 (北部平坦・ひとめぼれ) 高橋 良	苗立率、草丈、 茎数、葉齢、 葉色、出穂期、 成熟期、収量等	実需対応型みやぎ米普及事業
だて正夢施肥技術実証ほ	だて正夢について、一般作付の円滑な生産活動に資する	水 稲	大崎市三本木 (北部平坦) 齊藤 作郎	水稲生育調査ほに準じる	実需対応型みやぎ米普及事業
金のいぶき収量向上実証ほ	金のいぶきについて、一般作付の円滑な生産活動に資する	水 稲	大崎市三本木 (北部平坦) 齊藤 作郎	水稲生育調査ほに準じる	実需対応型みやぎ米普及事業
多収栽培実証ほ	多収栽培を実証する	水 稲	加美町宮崎 (西部丘陵・まなむすめ) 鎌田 靖雄	水稲生育調査ほに準じる	実需対応型みやぎ米普及事業
麦生育調査ほ	定期的な生育調査を通じ、栽培指導上の資料とする	小 麦	大崎市古川 (シラネコムギ) 桜ノ目アグリサービス	草丈、茎数、 出穂期、成熟期、 収量等	売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業
大豆調査基準ほ	生育調査ほに準じて、地域の栽培指導資料とする	大 豆	大崎市古川 (タンレイ・ミヤギシロメ) 桜ノ目アグリサービス 大崎市三本木 (きぬさやか) 下沖営農組合 加美町長清水 (タチナガハ) 天野 勇一郎	茎長、節数、 莢数、収量等	なし

名 称	目 的	作物名	設置場所及び担当農家	主な調査項目 調 査 回 数	関連事業
果樹作況調査ほ	定期的な生育調査を通じ、	りんご	色麻町南山果樹園 (ふじ) 高橋 光明	発芽期, 開花期, 着果量, 果実肥	園芸振興戦略 総合対策事業
	栽培指導上の資料とする	ぶどう	大崎市古川 (シャインマスカット) 加藤 善市	大, 収量, 果実 品質	
農薬展示試験ほ	新しい除草剤, 殺菌殺虫剤の効果確認	水 稲 野 菜	各市町	病虫害被害, 雑 草発生程度	宮城県植物防 疫協会委託試 験
飼料作物生育・収量調査ほ	奨励品種の普及	飼料用 とうも ろこし	加美町下多田川 千葉 義文	初期生育, 出穂 期, 収量, 病害 発生程度	飼料価格高騰 対策支援事業 自給飼料生産 総合推進事業

(3) 各種情報調査計画

名 称	作物名	主な調査項目	調査時期 (月)	調査回数	関係課・ 公 所 名	関連事業等
新規就農者調査	—	新規就農者の就農時期, 経営規模等	4, 11	2回	農業振興課	青年農業者育成確保推進事業(基盤強化法基本方針の達成状況把握)
地区農業士会の活動状況報告	—	農業士会の活動内容	4～5	1回	農業振興課	農業士活動事業
農村青少年クラブ動向調査	—	4Hクラブ数	4	1回	農業振興課	農村青少年指導者研修事業
家族経営協定に関する調査	—	家族経営協定締結数	4～6	1回	農業振興課	農業・農村男女共同参画支援事業(パートナーシップ指標の達成状況把握)
普及現地事例情報調査	—	普及現地事例情報等の収集	2	1回	農業振興課	全国農業改良普及支援協会より照会
主要農作物生育概況調査	各作物	各作物の生育状況	4～3	12回	園芸推進課	
水稲の播種状況及び田植状況	水稲	播種面積, 田植面積	4～5	7回	みやぎ米推進課	水稲生育診断事業
水稲の出穂状況	水稲	出穂面積	8	6回	みやぎ米推進課	水稲生育診断事業
水稲の刈取状況	水稲	刈取面積	9～10	6回	みやぎ米推進課	水稲生育診断事業
水稲生育調査	水稲	生育, 収量等調査	5～10	10回	みやぎ米推進課	水稲生育診断事業
麦生育調査は調査	麦	生育, 収量等調査	4～3	9回	みやぎ米推進課	売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業
水稲直播栽培技術普及展示は調査	水稲	生育, 収量等調査	5～10	10回	みやぎ米推進課	実需対応型みやぎ米普及事業
だて正夢施肥技術実証は調査	水稲	生育, 収量等調査	5～10	10回	みやぎ米推進課	実需対応型みやぎ米普及事業
金のいぶき収量向上実証は調査	水稲	生育, 収量等調査	5～10	10回	みやぎ米推進課	実需対応型みやぎ米普及事業
水稲直播栽培実態調査	水稲	直播栽培面積	6	1回	みやぎ米推進課	実需対応型みやぎ米普及事業
種子審査	水稲 麦 大豆	発芽率, 種子伝染性病害虫発生程度等	4～3	5回 (各作物毎)	みやぎ米推進課	みやぎの主要農作物等生産体制整備事業
農産物の放射性物質に関する調査	各作物 (野菜・果実除く)	農産物の放射性物質検査	4～3	随時	園芸推進課	農産物放射能対策事業
農薬の短期暴露評価導入に伴うJA栽培暦等確認	各作物	JA栽培暦等記載農薬の確認	4～3	随時	みやぎ米推進課	国からの通知による

名 称	作物名	主な調査項目	調査時期 (月)	調査回数	関係課・ 公 所 名	関連事業等
農薬危害防止運動の実施状況	—	農薬適正使用の指導を行った講習会等の内容及び受講者数等	6～8	1回	みやぎ米推進課	農薬適正使用推進事業（農薬安全使用指導事業）
GAP取得に関する意向調査	—	GAP取得意向等	11～2	1回	みやぎ米推進課	GAP認証取得推進事業（農産物）
GAP理解度測定アンケート	—	GAP指導対象者の「国際水準GAPの実施」についての理解度	5～3	2回	みやぎ米推進課	GAP認証取得推進事業（農産物）及び国際水準GAP普及推進交付金（国）
多収栽培実証ほ調査	水稻	生育，収量等調査	5～10	10回	みやぎ米推進課	実需対応型みやぎ米普及事業
加工・業務用野菜に関する取組状況調査	野菜	生産額，面積，出荷先，品種名等	6	1回	園芸推進課	加工・業務用野菜産地育成強化事業
地域特産果樹生産動態等調査	全果樹	樹種別作付面積，生産出荷数量等	10～4	1回	園芸推進課	国からの照会に基づく
花き産業振興総合調査	花き類	市町村別作付面積，生産出荷数量等	12	1回	園芸推進課	国からの照会に基づく
果樹作況調査	りんご ぶどう	発芽，開花，肥大，収量等生育調査	4～12	10回	園芸推進課	園芸振興戦略総合対策事業 ※果樹生産性向上対策事業を統合
県育成園芸品種に関する調査	野菜，花き，果樹	栽培面積，収量等調査	4～3	随時	園芸推進課	優良種苗供給事業
永年生牧草地再除染に係る調査	永年生 牧 草	基準値超過牧草の原因調査(土壌分析等)	4～3	随時	畜 産 課	給与自粛牧草等処理 円滑化事業
飼料作物生育・収量調査	飼料用とうもろこし	生育・収量調査	4～3	随時	畜 産 課	飼料価格高騰対策支援事業 自給飼料生産総合推進事業
国営土地改良地区事業の事後評価に関する営農状況調査	—	営農状況調査全般	4～3	3回	農村振興課	国営かんがい排水事業（鳴瀬川地区）
水稻優良品種決定現地調査	水稻	生育，収量等調査	5～10	8回	古川農業試験場	宮城県主要農作物優良品種決定調査要領等

IV その他

(1) 管内で実施される主な事業と普及センターの役割分担

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクト【政策】 (県主催商談会、県募集商品開発事業等)	食産業振興課	・地域の食材と加工のマッチングに関する連携(農業法人等への情報提供等) ※農産物、加工品の販路拡大をめざす農業法人等への情報提供(農商工連携、6次産業化支援等、普及活動のツールとして活用)	先進技術班
全域	県産ブランド品確立支援事業【政策】	食産業振興課	・地域食材のマーケティングに関する連携・情報交換(情報提供) ・生産地視察の際の実需者へPR協力	先進技術班
大崎市 加美町	中山間地農業ルネッサンス推進事業	農山漁村なりわい課	・県による中山間地農業を元気にする各種活動を支援	地域農業班
全域	令和のむらづくり推進事業【重点】	農山漁村なりわい課	・農山漁村地域における集落機能強化地域資源ビジネスの創出・展開、関係人口の拡大推進等に取り組む各活動組織への助言指導	地域農業班
全域	多面的機能支払事業【重点】	農山漁村なりわい課	・事業を実施する活動組織への助言、支援	地域農業班
全域	むらまち交流拡大推進事業【重点】	農山漁村なりわい課	・農林漁家民宿・レストラン等のGTの核となる経営体の育成に係る指導 ・GT推進協議会活動への支援	地域農業班
大崎市 加美町	農用地開発推進営農指導事業	農山漁村なりわい課	・現地から相談があれば、土地利用計画策定に関する助言	地域農業班
大崎市 加美町	中山間地域等直接支払交付金事業【重点】	農山漁村なりわい課	・集落協定活動に対する支援(随時) ・県指導チームによる、モデル集落の活動支援及び指導(フォローアップ)	地域農業班
全域	鳥獣害防止対策事業	農山漁村なりわい課	・農作物への鳥獣被害防止対策指導	地域農業班
加美町	※旧山村振興事業分	農山漁村なりわい課	・交流施設、活性化施設等の利用・運営に関する助言指導	地域農業班
全域	農林漁業者等6次産業化サポート事業(宮城県6次産業化サポートセンター)	農山漁村なりわい課	・6次産業化に取り組む農林漁業者の「経営改善戦略」を策定し、付加価値額増加に向けた指導・助言	先進技術班
全域	企業との連携による6次産業化支援強化事業	農山漁村なりわい課	・企業との連携による商品開発に関する技術的な指導・助言及び農業法人等への企業とのマッチング商談会等に関する情報提供	先進技術班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○関係・交流人口受入れ体制強化事業	農山漁村なりわい課	・農泊や農業体験等受入体制づくりの事業を実施する活動組織・団体等への助言・支援	地域農業班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○都市部人材・企業連携コーディネーター育成事業	農山漁村なりわい課	・都市部と農村の交流推進、連携体制の構築、運営等の活動戦	地域農業班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○みやぎ地域資源の魅力発見活力向上対策事業	農山漁村なりわい課	・管内の地域資源を活用した6次産業化(新商品開発や生産者と食品加工事業等との連携など)の取組の啓発、実践活動支援	先進技術班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○みやぎ農山漁村スモールビジネス創出事業	農山漁村なりわい課	・地域資源を活用した6次産業化の取組を開始する農業者等の機械・施設等導入及び販売等の事業実施の指導・助言	先進技術班

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○みやぎ6次産業化リノベーション支援事業	農山漁村 なりわい課	・6次産業化事業者等の商品改良・販売戦略の見直し等に関する指導・助言	先進技術班
全域	【新規】地域資源・キャリア人材育成支援事業 ○農産物直売所等機能強化支援事業	農山漁村 なりわい課	・農産物直売所の機能強化、活性化等に向けた助言指導・活動支援	先進技術班
全域	【新規】みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業	農山漁村 なりわい課	・モデル市町村(地域)の地域戦略計画を策定に向けた地域検討会への参画 ・デジタルトランスフォーメーション地域戦略計画の策定支援	先進技術班
全域	アグリビジネス経営確立支援事業(アグリビジネス経営基盤強化整備事業、大規模園芸経営体育成事業)	農業振興課 園芸推進課	・アグリビジネスを志向する経営体育成支援 ・アグリビジネス経営体の事業展開支援 ・アグリビジネス経営革新計画及び大規模園芸経営体育成事業計画の策定・推進支援	先進技術班
全域	農業政策企画推進事業 (農業参入支援等)	農業振興課	・一般企業が農業参入を行うに当たって、栽培技術等の助言指導 ・農業法人等が農福連携に取り組むに当たっての助言、指導	先進技術班 地域農業班
全域	みやぎ型農福連携普及拡大事業	農業振興課	・みやぎ農福連携推進ネットワーク活動への支援	先進技術班 地域農業班
全域	みやぎの農業多様な人材活躍推進事業	農業振興課	・事業活用に向けた支援(事業の周知、計画立案支援、計画の実現に向けた支援)	先進技術班 地域農業班
全域	農業経営基盤強化促進事業 ○元気のでるみやぎの担い手育成・確保推進交付金のうち担い手育成総合支援活動事業 ○強い農業・担い手づくり総合支援交付金	農業振興課	・地域担い手協議会のコーディネーター役としての支援 ・担い手協議会が実施する認定農業者等担い手の資質向上や農業経営改善計画の達成に向けたフォローアップ活動の支援 ・農業法人設立を希望する経営体等に対する法人設立支援等 ・担い手協議会との連携による設立間もない農業法人等に対する経営診断や会計等に関する指導助言 ・事業活用に向けた支援	地域農業班 先進技術班
全域	農業経営者総合サポート事業 ○農業経営相談所	農業振興課	・農業経営の法人化・高度化に向けた支援	地域農業班 先進技術班
全域	農地中間管理事業	農業振興課	・中間管理事業による農地集積の普及啓蒙 ・市町、農業委員会等への情報提供、意見交換 ・中間管理事業担当との情報共有	地域農業班
全域	農業制度資金関係事業	農業振興課	・農業改良措置に関する意見書の作成 ・経営改善資金計画書等作成の助言・指導及び認定新規就農者に係る意見書の作成 ・事業計画の達成及び借入金返済を含めた資金繰りの安定化を確保するために必要な生産技術・経営の指導・助言	先進技術班 地域農業班
全域	農業・農村男女共同参画支援事業	農業振興課	・キャリアアップ講座等、女性農業者に対する経営・技術支援、女性農業者及び女性・女性グループ等の表彰推薦、若手女性の掘り起こし・育成、農村女性リーダーの育成 ・男女共同参画推進、社会参画に関する意識啓発	地域農業班

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	農村青少年指導者研修事業	農業振興課	・農村青少年クラブ活動の啓発、普及 ・農村青少年クラブ活動の助長	地域農業班
全域	青年農業者育成確保推進事業	農業振興課	・関係機関と連携した新規就農者の確保・育成 ・就農計画を申請しようとする者に対する就農相談 ・申請内容への事前指導 ・農業次世代人材投資事業（旧：青年就農給付金）に関する支援	地域農業班
全域	農業士活動事業	農業振興課	・農業士の認定に関する農業者の情報収集・調整 ・農業士活動への指導・支援	地域農業班
全域	みやぎ農業未来塾開催事業	農業振興課	・生産技術や流通販売等に関する集合研修等の開催	地域農業班
全域	マンツーマンサポート事業	農業振興課	・新規就農者に対する栽培、経営管理支援	地域農業班
全域	みやぎのキラリ輝く女性応援事業【新規組替】	農業振興課	・事業活用に向けた支援	地域農業班
全域	普及指導員調査研究費	農業振興課	・専門項目に関する技術及び普及指導活動方法についての調査研究	地域農業班 先進技術班
全域	スマート農業実証モデル推進事業【政策】アグリテック活用推進事業	農業振興課	・アグリテックの普及・推進 ・アグリテック実践モデル経営体への支援（相談・指導・助言）	先進技術班
全域	地域農業担い手育成支援事業	農業振興課	・集落営農組織等の法人化支援 ・新規設立法人の経営安定化支援	先進技術班
全域	地域を守る、集落営農モデル支援事業	農業振興課	・対象選定、対象との調整 ・派遣専門家等と連携し、支援方向の決定や支援計画の作成、進行管理 ・支援対象に対する助言・指導	地域農業班
全域	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト及びスマート農業加速化実証プロジェクト	農業振興課 園芸推進課	・スマート農業実証技術の営農管理支援 ・生育状況の記録（写真等） ・スマート農業実証農場の情報発信・視察受入対応	先進技術班
全域	強い農業・担い手づくり総合支援交付金	みやぎ米推進課 園芸推進課	・事業計画構築支援 ・取組農業者の経営・生産計画策定支援	地域農業班
全域	産地生産基盤パワーアップ事業	みやぎ米推進課 園芸推進課	・事業計画指導支援 ・取組農業者の経営・生産計画策定支援 ・低コスト生産技術の導入と目標達成に向けた支援	地域農業班
全域	みやぎの主要農作物種子等生産体制整備事業	みやぎ米推進課	・優良種子を安定確保するための栽培指導 ・種子生産ほのほ場審査及び生産物審査（事務決済規程第3条別表第一） ・農協及び採種組合等の生産体制整備に係る指導	先進技術班
全域	県産こめ粉利用拡大事業	みやぎ米推進課	・農漁家レストラン等での米粉利用に関する情報提供や食品企業等への県産米の米粉活用に向けた連携	先進技術班
全域	売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業【重点】	みやぎ米推進課	・麦大豆の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導	先進技術班

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	実需対応型みやぎ米普及事業 【組替】【政策】	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・「だて正夢」, 「金のいぶき」普及展示は設置, 地域栽培塾等による技術指導 ・水稲直播栽培技術普及展示は設置等による省力・低コスト稲作推進 	先進技術班
全域	水稲生育診断事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導 	先進技術班
全域	経営所得安定対策等推進事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者に対する経営所得安定対策制度の活用支援 ・水田フル活用や水田農業高収益化, 産地づくりの推進に必要な作物や技術導入に関する指導支援 ・地域農業再生協議会による水田農業収益力強化ビジョンの策定及び取組支援 	地域農業班
全域	新市場開拓に向けた水田リノベーション事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業再生協議会が策定した「水田リノベーション産地・実需協働プラン」に参画する農業者が行う低コスト生産等の取組支援 	地域農業班
全域	農産物放射能対策事業	園芸推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・米, 麦, 大豆, そばのサンプリングと放射性物質分析結果等に基づく放射性物質吸収低減対策等の技術指導 	先進技術班
全域	農用地土壌汚染対策推進事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・基準値超過米の発生抑制に向けた, 農家への適正水管理の徹底指導 	先進技術班
全域	農薬適正使用推進事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナー作物における農薬登録拡大試験の実施 	先進技術班
全域	GAP認証取得推進事業 (農産物)	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・GAPの普及啓発, 取得推進指導 	先進技術班
全域	農業機械総合対策推進事業	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講習会・研修会, 巡回指導時における農作業安全指導 ・普及センターだより等への掲載 	先進技術班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業 (環境保全型農業支援普及事業)	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の普及と志向農家の掘り起こし, 誘導 ・認定志向農業者に対する「導入計画」策定時の指導, 助言 ・導入計画実現に向けた指導, 助言 ・必要に応じ, 実施状況に係る認定農業者への現地調査 	先進技術班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業 (有機農業定着促進・推進体制整備事業, みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度)	みやぎ米 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業者への助言・指導 ・有機農業参入相談活動の情報提供 ・みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度の普及と志向農業者の掘り起こし, 誘導等支援 	先進技術班
全域	みやぎ大規模園芸総合推進事業 【ビジョン】	園芸推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・所管地域における産地育成, 施策展開等を実施するため, 農業経営・技術上の調査協力や課題解決支援 ・地域の園芸振興に係る計画の策定のための支援・助言・指導 ・野菜産地強化計画の策定及び花き, 果樹, 特用作物の産地改革計画の策定及び花き, 果樹, 特用作物の産地改革計画, 策定のための助言・指導 ・最重要品目の生産振興に向けた集中的支援 ・水田等における加工・業務用野菜の生産拡大及び新たな産地育成 ・果樹作況調査ほにおける作況把握(りんご, なし, もも, ぶどう) ・果樹の生産技術指導 	先進技術班

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	みやぎの園芸法人ステージアップ事業【重点】	園芸推進課	・企業的な園芸法人等の育成支援	先進技術班
全域	園芸作物サプライチェーン推進事業【ビジョン】	園芸推進課	・産地間の広域連携強化への支援 ・広域連携協議会運営に関する支援	先進技術班
全域	水田農業高収益作物導入推進事業	園芸推進課	・事業活用に向けた支援	先進技術班
全域	園芸作物優良種苗供給生産事業	園芸推進課	・園芸品目における有望品種の現地普及支援	先進技術班
全域	園芸特産団体育成事業	園芸推進課	・各協議会等の活動との連携 ・所管地域内花き産地の情報提供	先進技術班
全域	県育成いちご新品種「にこにこベリー」展開事業【重点】	園芸推進課	・「にこにこベリー」の普及に向けた展示ほの設置、栽培技術指導	先進技術班
全域	データ駆動型農業の実践・展開事業	園芸推進課	・次世代施設園芸拠点及びデータ駆動型施設園芸モデル農場で得られた高度環境制御技術の普及支援	先進技術班
全域	畜産業振興事業等指導事業	畜産課	・畜産特別資金借入農家に対する経営、技術支援指導	先進技術班
全域	放射性物質影響調査事業	畜産課	・粗飼料、土壌等の放射性物質分析に基づく適切な飼養管理等の技術指導	先進技術班
全域	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業【重点】	畜産課	・畜産クラスター協議会指導、構成員として助言 ・クラスター計画策定・見直し等支援 ・施設整備事業計画構築支援 ・施設整備対象者経営指導	先進技術班
全域	給与自粛牧草等処理円滑化事業	畜産課	・除染済牧草地の放射性物質吸収抑制対策技術支援	先進技術班
全域	畜産環境整備リース事業	畜産課	・事業を要望する畜産農家の処理技術指導及び経営指導	先進技術班
全域	自給飼料生産総合推進事業	畜産課	・飼料価格高騰に対応する技術指導 ・稲発酵粗飼料の奨励品種の普及展示	先進技術班
全域	飼料価格高騰対策支援事業	畜産課	・飼料価格高騰に対応する技術指導 ・稲発酵粗飼料の奨励品種の普及展示	先進技術班
全域	畜産経営技術高度化促進事業	畜産課	・畜産協会の畜産コンサルト団と連携した対象農家への経営・技術両面の支援指導	先進技術班
全域	畜産振興総合対策推進指導事業（養蜂振興推進事業）	畜産課	・施設園芸農家への花粉交配用ミツバチ導入の調査協力	先進技術班
全域	乳用牛群検定指導強化事業	畜産課	・検定データの分析結果を検定農家へ伝達及びデータを活用した飼養管理の指導	先進技術班
全域	家畜改良促進事業	畜産課	・共進会に参加する牛の選定協力	先進技術班
全域	肉用牛集団育種推進事業【重点】	畜産課	・県種雄牛造成に係る直接検定牛、現場後代検定牛の選定協力 ・生産現場における県肉用牛改良方針、交配及び優良繁殖雌牛の保留推進等の情報提供	先進技術班
全域	GAP認証取得推進事業【重点】	畜産課	・認証制度の普及啓蒙 ・認証取得希望者への支援	先進技術班
全域	第12回鹿児島全共出品対策事業【重点】	畜産課	・出品候補牛の調査、技術指導	先進技術班
全域	土地改良事業地区営農推進優良事例表彰事業	農村振興課	・推薦調書の作成支援	地域農業班
全域	農地等地域整備構想策定支援（県営ほ場整備事業調査書）	農村振興課	・地域営農構想の策定支援等	地域農業班

市町名	事業名等	関係課	役割分担	担当班
全域	(事業要望地区調査) 県営ほ場整備事業調査費 農業農村整備事業実施計画費	農村振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手農家の営農計画策定支援 ・地域営農計画の策定支援 ・土壌調査等の基礎調査支援 	地域農業班 先進技術班
大崎市	田んぼダム導入促進・効果検証 モデル事業	農村振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区営農支援・収量調査等 	地域農業班 先進技術班
全域	農地整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農業競争力強化基盤整備事業 ・農山村地域整備交付金 ・農村地域復興再生基盤総合整備事業【R2→R3繰越】 農業経営高度化支援事業 【重点】	農村整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の立ち上げから運営までの指導，支援 ・担い手への助言，指導 ・作物生産技術指導，支援（直播栽培，高収益作物への取組等） ・農地集積への助言，支援 	地域農業班 先進技術班

(2) 職務分担

職 名	氏 名	分 掌 事 務
所 長	佐藤 昌幸 (作物)	1 農業改良普及センター（以下「普及センター」という。）の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する
農業普及 指導専門監	佐藤 聖一 (野菜)	1 農業技術の改良普及の指導に関する事務を掌理する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）の総括に関する事 3 プロジェクト課題等における各チーム間の総合調整に関する事 4 農政部重点施策の展開における普及指導活動の総合調整及び指導に関する事 5 みやぎの農業・農村復興に係る普及活動の総括に関する事 6 普及指導員の資質向上に関する事 7 効率的かつ効果的な普及活動の展開に関する事（普及指導員の現地活動時間の確保、プロジェクト課題成果指標達成度の向上等）
総括次長	長谷部 幹 (作物)	1 所の事務を掌理し、所長を補佐する 2 所長代決に関する事 3 普及センター管理運営に関する事 4 職員の服務規律及び福利厚生に関する事 5 庶務に関する事 6 安全運転管理者に関する事 7 県民サービス向上運動、事務改善に関する事 8 食の安全・安心の推進に関する事 9 職員の研修に関する事
総括技術次長	石黒 裕敏 (畜産)	1 専門的技術に関し、所長を補佐する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）策定及び実施の調整に関する事 3 調査研究に関する事 4 農業技術の指導に関する事 5 県奨励施策に係る市町・農協及び地方振興事務所内の各部署との総合調整に関する事 6 試験研究開発技術の普及に係る総合調整に関する事 7 みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に関する事 8 産業間連携に関する事 9 関係機関・団体との連携に関する事 10 農業技術に係る各班活動の連携及び調整に関する事 11 経営所得安定対策及びその関連施策に関する事（総括） 12 農地中間管理事業に関する事（総括） 13 男女共同参画社会形成の取組推進に関する事

職 名	氏 名	分 掌 事 務
地 域 農 業 班	技術主任 主査 (班 長) 漆 山 喜 信 (野 菜) <大崎市・古川 三本木地域>	<ol style="list-style-type: none"> 1 班の総括(正) 2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事 3 各課題チーム活動の調整に関する事 4 担当事業の進行管理に関する事 5 普及指導計画の策定及び実施に関する事 6 普及センター活動に関する事 7 地域農業振興計画等の支援に関する事 8 大崎市農業再生協議会, 大崎市古川・三本木地域農業再生委員会に関する事 9 大崎市担い手育成総合支援協議会に関する事 (正) 10 普及指導協力委員活動の調整に関する事 11 普及活動検討会及び研究会に関する事 12 農村振興に関する事 13 中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関する事 14 宮城県農業経営相談所に関する事 15 農福連携に関する事 16 他の班に属さない事務に関する事
	技術次長 (副班長) 大 森 裕 俊 (果樹・経営) <加美町>	<ol style="list-style-type: none"> 1 班の総括(副) 2 地域農業振興計画等の支援に関する事 3 加美町農業再生協議会に関する事 4 加美町担い手支援センターに関する事 5 地域営農システム構築への支援に関する事 6 経営所得安定対策及びその関連対策に関する事 7 人・農地プラン作成の支援に関する事 8 農地中間管理事業に関する事 9 農業経営基盤強化促進対策のうち, 農用地利用調整に関する事 10 青年農業士, 指導農業士に関する事 11 農作物の野生鳥獣害対策に関する事 12 農村振興に関する事 13 中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関する事
	技術主査 津 田 花 愛 (花 き) <色麻町>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域農業振興計画等の支援に関する事 2 色麻町農業再生協議会に関する事 3 色麻町担い手支援センターに関する事 4 青年農業者の育成に関する事 5 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関する事 6 農村振興に関する事 7 農産物の展示会及び共進会に関する事

職 名		氏 名	分 掌 事 務
地 域 農 業 班	技術主査	石川 亜矢子 (作 物) <大崎市・岩出 山・鳴子地域>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域農業振興計画等の支援に関する事 2 大崎市岩出山・鳴子地域農業再生委員会に関する事 3 大崎市担い手育成総合支援協議会に関する事 (副) 4 地域農業を担う組織育成 (農村生活研究グループ) に関する事 6 女性農業者の育成に関する事 5 表彰推薦に関する事 6 農村振興に関する事 7 中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関する事
先 進 技 術 班	技術次長 (班 長)	佐 藤 一 良 (作 物)	<ol style="list-style-type: none"> 1 班の総括 (正) 2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事 3 各課題チーム活動の調整に関する事 4 担当事業の進行管理に関する事 5 生産技術改善 (作物) の普及指導に関する事 6 主要農作物 (水稻 (副), 麦類・大豆 (正)) の種子生産に関する事 7 普及センター活動に関する事 8 経営所得安定対策のうち, 特に高度な技術・経営の支援に関する事
	技術次長 (副班長)	佐 藤 泰 久 (作 物)	<ol style="list-style-type: none"> 1 班の総括 (副) 2 経営管理高度化 (経営) の普及指導に関する事 (正) 3 経営管理高度化 (制度資金) の普及指導に関する事 (正) 4 放射能調査に関する事 (正) 5 生産技術改善 (作物) の普及指導に関する事 (生育調査・展示ほ・技術情報を含む) 6 農業普及情報の収集及び蓄積, 伝達に関する事 (農業気象・災害) (正) 7 農業普及情報の収集及び蓄積, 伝達に関する事 (普及センターだより, IT活用等) (副)
	技術主幹	千 葉 正 典 (畜 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 生産技術改善 (畜産) の普及指導に関する事 2 経営管理高度化 (経営) の普及指導に関する事 (副) 3 経営管理高度化 (制度資金) の普及指導に関する事 (副) 4 農業普及情報の収集及び蓄積, 伝達に関する事 (普及センターだより, IT活用等) (正) 5 地域農業を担う組織の育成に関する事 (農業生産組織・農業研究組織)

職 名		氏 名	分 掌 事 務
先 進 技 術 班	技術主任 主査 (副班長)	門 脇 正 好 (作物・経営)	1 生産技術改善（作物）の普及指導に関すること 2 主要農作物（水稻（正），麦類・大豆（副））の種子生産に関すること 3 農産物の流通及び利活用の普及指導に関すること（農産物利活用） 4 アグリビジネス・6次産業化の推進に関すること 5 アグリテックの推進に関すること（正）
	技 師	永 田 悦 祈 (野 菜)	1 生産技術改善（野菜・特用作物）の普及指導に関すること 2 土壌肥料及び土壌分析業務に関すること（正） 3 環境に配慮した，安全安心な農畜産物生産の普及指導に関すること（正） 4 農業普及情報の収集及び蓄積，伝達に関すること（農業気象・災害）（副） 5 農業労働改善の普及指導に関すること
	技 師	松 田 智 哉 (野 菜)	1 生産技術改善（野菜）の普及指導に関すること 2 土壌肥料及び土壌分析業務に関すること（副） 3 環境に配慮した，安全安心な農畜産物生産の普及指導に関すること（副） 4 国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）の普及指導に関すること（正） 5 試験研究開発技術の普及に関すること（副）
	技 師	菊 池 光 洋 (野 菜)	1 生産技術改善（野菜）の普及指導に関すること 2 試験研究開発技術の普及に関すること（正） 3 オープンラボラトリーの管理運営に関すること（正） 4 国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）の普及指導に関すること（副） 5 アグリテックの推進に関すること（副）
	技 師	後 藤 佳 彦 (作 物)	1 生産技術改善（作物）の普及指導に関すること 2 主要農作物（水稻（副），麦類・大豆（副））の種子生産に関すること 3 オープンラボラトリーの管理運営に関すること（副） 4 放射能調査に関すること（副）
	(兼) 技術次長	大 森 裕 俊 (果樹・経営)	1 生産技術改善（果樹）の普及指導に関すること
	(兼) 技術主査	津 田 花 愛 (花 き)	1 生産技術改善（花き）の普及指導に関すること

V 参考資料

(1) 地域の概況

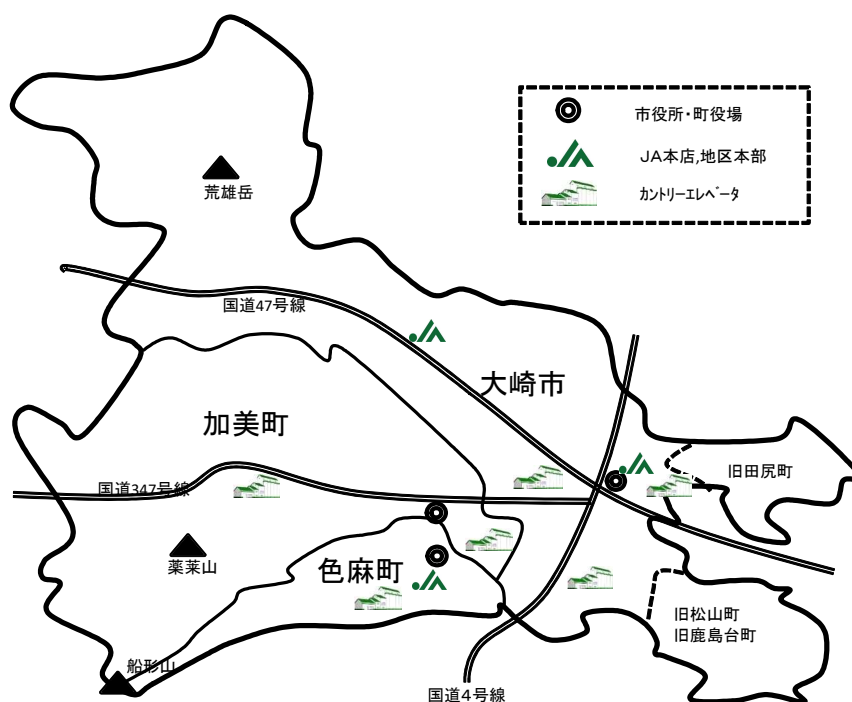
1) 地域の概要

管内は、宮城県北西部に位置し、大崎市（旧田尻町、旧松山町、旧鹿島台町を除く）、色麻町、加美町の1市2町をその範囲としている。

西部は、秋田県・山形県との境界をなす奥羽山脈が連なり、一帯は広大な丘陵地帯となっており、東部に平坦地が広がっている。荒雄岳を源とする江合川と船形連峰を源とする鳴瀬川が流れ、広大な大崎耕土を潤している。平坦地の中心にある大崎市古川の年間平均気温は11.3℃、年間降水量は1,173mmである。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、農業施設や農産物が甚大な被害を受けたが、大崎市古川でカントリーエレベータが新設されるなど農業施設の復旧は終えている。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故により放射性物質が広範囲に拡散し、当管内においても農地などが汚染された。これに対しては、吸収抑制対策の実施が高い効果を上げているものの、放射性物質検査や放射性物質に関する正しい知識の啓蒙などの活動を震災後10年が経過した現在も継続している。



2) 農業経営の現状 (2015年農林業センサス)

平成27年の管内にある市町の総農家数は7,900戸、うち販売農家戸数は5,827戸である。平成22年と比較すると総農家数で1,234戸、販売農家数は1,251戸減少している。平成27年の販売農家数の内訳は、専業農家1,143戸(19.6%)、第1種兼業農家1,163戸(20.0%)、第2種兼業農家3,521戸(60.4%)となっている。

農業就業人口8,658人のうち65歳以上は、5,157人で59.6%と過半を占めており農家戸数の減少と農業従事者の高齢化が進んでいる。

地域農業の担い手である認定農業者は、令和2年3月末現在で大崎市の1,007人を筆頭に管内全市町の総数は1,412人となっている。集落営農組織においては、組織の持続的発展のため法人化したところも現れている。また、それぞれの地域が抱える人と農地の問題を解決するための地域農業の将来の設計図となる「人・農地プラン」については、1市2町の21地区で作成されており、担い手への農地集積率は70.3%となっている。また、農地中間管理事業による貸付面

積は、令和3年1月31日現在までで3,456.9ha（美里管内含む）の実績となっている。

青年農業者については、大崎4Hクラブや和牛繁殖経営者らの若牛会など自主的な活動組織があり、研修会などをおして情報交換や仲間づくりが行われている。新規就農者は、平成27年度15人、平成28年度17人、平成29年度11人、平成30年度15人、令和元年度16人となっており、「人・農地プラン」の関連施策である農業次世代人材育成投資事業交付金の受給者は延べ47人と増加している。

男女共同参画の状況については、年々意識が高まっており、令和元年度末で178戸の農家が家族経営協定を締結している。

アグリビジネスなど6次産業化については、地域で生産された農産物や農産加工品の直売、農家レストランなどの取組が活発に行われており、令和2年10月1日現在で休業中を除く直売所16件、農家レストラン6件、農家民宿2件が開設されている。農産物直売所の運営形態は、農協主体をはじめ、法人化した出荷組合、任意出荷組織など様々であり、近年では年間販売額が1億円を超える経営もみられる。地域農産物の生産、加工、流通を行う農業法人のうち、年間販売額が1億円以上である「先進的アグリビジネス経営体」に相当する経営体数は13経営体あり、販売額は増加傾向にある。

表1 農家数 (単位：戸)

項目	総農家数	うち販売農家数	販売農家内訳		
			専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
大崎市	5,981	4,653	903	876	2,874
色麻町	435	320	58	85	177
加美町	1,484	854	182	202	470
計	7,900	5,827	1,143	1,163	3,521
宮城県	52,350	37,533	7,865	5,261	24,407
計/県	15.1%	15.5%	14.5%	22.1%	14.4%

※大崎市は旧田尻町、旧松山町、旧鹿島台町分を含む（2015年農林業センサス）

表2 農業就業人口 (単位：人)

項目	農業就業人口	うち65歳以上	65歳以上比率
大崎市	6,683	4,042	60.5%
色麻町	566	314	55.5%
加美町	1,409	801	56.8%
計	8,658	5,157	59.6%
宮城県	54,315	33,156	61.0%
計/県	15.9%	15.6%	—

※大崎市は旧田尻町、旧松山町、旧鹿島台町分を含む（2015年農林業センサス）

表3 認定農業者数（令和2年3月末現在）

項目	認定農業者数（人）	うち農業法人（法人）	担い手への農地集積率
大崎市	1,007	86	66.1%
色麻町	117	13	76.0%
加美町	288	30	80.1%
計	1,412	129	70.3%
宮城県	6,279	707	59.2%
計/県	22.5%	18.2%	—

※大崎市には旧田尻町、旧松山町、旧鹿島台町分を含む（宮城県農政部調べ）

表4 耕地面積（平成30年7月15日現在）

（単位：ha）

項目	耕地面積	耕地面積内訳	
		田	畑
大崎市	18,420	16,100	2,320
色麻町	2,845	2,490	355
加美町	6,110	4,900	1,210
計	27,375	23,490	3,885
宮城県	126,900	104,900	22,000
計/県	21.6%	22.4%	17.7%

※大崎市は旧田尻町，旧松山町，旧鹿島台町分を含む。また，数値については四捨五入の方法により，合計値と内訳が一致しない場合がある（第66次農林水産統計年報H30，R元）

表5 農業法人の形態と販売額（令和元年度）

（単位：件）

項目	年間販売額（直売所売上額を含む 円）			計
	5千万以上1億未満	1億以上3億未満	3億以上	
株式会社・有限会社	6	10	2	18
農事組合法人	3	1	0	4

※大崎農業改良普及センター管内（北部地方振興事務所調べ）

3) 農業生産の現状

管内の農業は，米を基幹として畜産・野菜などを組み合わせた複合経営が主体となっている。基幹作物の水稲は，「ひとめぼれ」や「ササニシキ」が主体に作付けされており，良質米の産地となっている。また，水田フル活用の一環として主に大豆や飼料用米などが生産されており，大豆は県内はもとより全国屈指の産地である。飼料用米については，JA加美よつばが全国に先駆けて飼料用米専用のカントリーエレベータを整備するなど水田を活用した土地利用型作物の生産が行われている。

しかし，農業産出額については，米消費量の減少や農畜産物の価格低迷に加えて，耕作放棄地の増加などにより減少傾向にある。

平成25年末に，米政策をはじめとする農業・農村の基本政策が大きく見直しされたことを踏まえ，東日本大震災からの復興，併せて国際情勢の変化にも対応できるよう農業の体質強化が喫緊の課題となっている。

イ 水稲

管内の水田を地帯区分別にみると，73.5%が北部平坦地帯，24.9%が西部丘陵地帯，1.6%が山間高冷地帯に属している。北部平坦地帯は黒泥土，灰色低地土，グライ土など肥沃な土壌が広がり，西部丘陵・山間高冷地帯は黒ボク土など火山灰土が広く分布している。

栽培品種は，主力の「ひとめぼれ」が作付面積の75%を占めており，次いで「まなむすめ」が6%，「みやこがねもち」が5%，「ササニシキ」，「つや姫」がいずれも4%の順になっており，その他，酒造好適米の「蔵の華」などが作付けされている。平成30年からは新品種「だて正夢」の一般作付けが始まったほか，玄米食向け品種「金のいぶき」，「東北194号」（「ささ結」，「ささゆた香」）や低アミロース品種の「ゆきむすび」が作付けされているなど，地域ブランド米の取組もみられる。また，米政策の見直しに対応した飼料用米やWCS（ホールクロップサイレージ）用稲の取組が増えている。

稲作大規模経営体などでは，水稲の育苗作業軽減と規模拡大のため，プール育苗や直播栽培に取り組んでいるところもある。

水田の大区画化に合わせて機械の大型化が進み，農地集積を図る法人の作業受託による規模拡大や集落営農組織の法人化が進んでいる。

種子生産では，4地区に採種ほ場が設置され，県内種子生産面積の約6割を担っている。

ロ 大豆, 麦類

令和2年の作付面積は, 大豆2,034ha, 麦類40haとなっており, 生産基盤の整備や米の生産調整により, 大豆を中心に作付面積が拡大している。

大豆は, 「タンレイ」及び「ミヤギシロメ」が主力品種となり, ブロック・ローテーション方式による作付体系が定着し, 国内有数の産地となっている。認定農業者, 集落営農組織, 農業法人など様々な担い手が大型機械を駆使して取り組んでおり, J A古川では, 大豆センターを拠点に, 実需者の加工用途に応じた生産に取り組み, 収量・品質の向上に努めている。

麦類は, 大崎市で小麦が作付けされており, 「シラネコムギ」が主力品種になっている。

表6 主要作物の作付面積 (令和2年産) (単位: ha)

項目	水 稻	大 豆	麦 類
大崎市	6,128	1,402	40
色麻町	1,432	262	—
加美町	2,968	370	0.3(二条)
計	10,528	2,034	40.3

宮城県北部地方振興事務所農業振興部調べ (R2年8月末現在) ※大崎市は旧田尻町, 旧松山町, 旧鹿島台町分を除く。

表7 水田整備率 (令和元年度実績) (単位: ha, %)

項目	水田面積	整備済面積	整備率	うち大区画	
				整備済面積	整備率
大崎市	16,700	11,710	70	7,371	44
色麻町	2,540	1,989	78	50	2
加美町	5,050	3,639	72	1,220	24
計	24,290	17,338	71	8,641	36

宮城県農政部農村振興課調べ ※大崎市は旧田尻町, 旧松山町, 旧鹿島台町分を含む。

ハ 畜産

飼養農家数及び飼養頭数は, 減少しているものの, 1戸当たりの飼養頭数は, 増加傾向にある。

肉用牛では, 県有種雄牛の能力向上に伴い, 「^{しげふくひさ}茂福久」及び「^{しげひろみ}茂洋美」を父とする子牛の生産が増えており, 市場出荷子牛のおよそ3割を占めている。また, 子牛価格は平成26年頃から飼養頭数の減少などにより高騰していたものの, 令和元年後半からは消費の鈍化により前年割れが続いている。肥育牛はブランド牛「仙台牛」や「仙台黒毛和牛」として確立され, より一層の上物率の向上と事故低減に向けた飼養管理の改善に継続して取り組まれている。その成果もあり, 平成29年9月に本県で開催された第11回全国和牛能力共進会に, J A古川管内から第7区肉牛群の宮城県代表牛が出品された。

一方, 自給粗飼料生産については, 東京電力福島第一原発事故により草地などが放射性物質で汚染されたため, 吸収抑制対策(草地除染)が行われ, 大部分の草地で利用可能となってきている。

表8 主要家畜の飼養頭数と飼養農家 (令和2年2月実績) (単位: 頭, 戸)

項目	乳用牛		肉用牛		豚	
	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数
大崎市	1,965	73	7,164	527	24,077	24
色麻町	1,128	15	653	87	X	X
加美町	1,740	50	2,051	205	7,709	4
計	4,833	138	9,868	819	31,786+X	28+X

宮城県北部家畜保健衛生所調べ (Xは非公開)

ニ 野菜

管内では、秋冬はくさい(加美)、ほうれんそう(大崎)、秋冬ねぎ(中新田)及び夏秋なす(古川)の4区域4品目が野菜の安定供給を目的とした国の野菜指定産地となっており、古川のなす、加美郡のねぎは県内第1位の生産を誇っている。ねぎは加美郡の他、JA古川で業務用需要に対応したねぎの作付けが集落営農組織などを中心に増加している。

JA加美よつばでは、土地利用型野菜の栽培が盛んであり、加工・業務用野菜としてキャベツ、はくさい、かぼちゃ、加工用トマトが生産されている。特にはくさい等では地元の加工業者に漬け物原料として、継続して供給している。また、たまねぎは国や県の補助事業の活用による機械化一貫体系の定着を図るなど、活発な動きが見られる。

ほうれんそう(大崎)は、平成18年から大崎市全域が産地指定を受けており、パイプハウスを利用した周年栽培が行われている。また、産地指定はされていないが、色麻町においてもパイプハウスを利用した周年栽培が盛んである。

夏秋なす(古川)は施設栽培が主力であり、マルハナバチを利用した受粉や、天敵を利用した防除にも取り組み、高品質ななす生産が行われている。露地栽培は、加工・業務用として取り組まれている。

JA古川では、なすの他、きゅうり、トマト、しゅんぎく、いちごが施設栽培で生産され、露地栽培では、ねぎ、にら、そらまめ等が生産されており、近年はえだまめの生産が増加している。さらに、JA新みやぎいわでやま地区本部管内では、せりの特産化を進めている。

このほか、加美町中新田地区を中心とした西洋野菜(サボイキャベツ等)、加美町小野田地区の小瀬菜大根、大崎市三本木地区の伊場野芋(さといも)等、地域特産的な取組も見られる。また、環境制御技術への関心が高まっており、令和元年度にトマトで二酸化炭素施用機と環境測定装置が導入され、なすでは環境測定の取組がはじまっている。

表9 主な野菜作付面積(令和元年) (単位: ha)

品目	栽培面積	主な産地
ねぎ	73.1	大崎市, 加美町, 色麻町
ほうれんそう	6.3	大崎市, 加美町, 色麻町
はくさい	8.0	加美町, 色麻町
なす	5.9	大崎市
たまねぎ	4.3	加美町, 色麻町

宮城県大崎農業改良普及センター調べ

ホ 花き

花きの主要品目は、大崎市のきく類、色麻町のストックとトルコギキョウ、加美町のばらと花壇用苗もの類となっている。このほか、色麻町でひまわり、大崎市鳴子温泉鬼首地区でりんどうが生産されており、地域ごとに生産品目が特化している。

近年は、燃油価格高騰により、冬季の暖房費低減を図るため、作型や品目の変更、作付面積の縮小などが見られる。また、販売方法は、系統出荷のほか、個別市場出荷、庭先販売及び農産物直売所での販売と多様化している。

表10 主要花き品目の作付面積(令和元年) (単位: a)

項目	きく類	ばら	ストック	トルコギキョウ	花壇用苗もの類
大崎市	216	23	11	5	90
色麻町	16	—	20	8	0
加美町	58	55	11	1	185
計	290	78	42	14	275

宮城県農政部園芸振興室調べ

へ 果樹

果樹の栽培面積は約108haで、主要果樹は、うめ、りんご、ブルーベリー及びぶどうである。

うめは主に大崎市岩出山地域で生産され、青果市場のほか加工原料として出荷されている。

りんごは主に色麻町、加美町で生産されているが、生産者の高齢化により栽培面積は減少傾向になっており、生産物のほとんどが庭先販売や農産物直売所へ出荷されている。

ブルーベリーは主に大崎市鳴子温泉地域、加美町小野田地域で生産されており、生食用や加工用途に出荷されている。特に大崎市鳴子温泉地域では温泉旅館とタイアップして、料理の食材として出荷されているほか、観光客の摘み取りや贈答用として販売されている。

ぶどうは主に大崎市古川地域で水稻育苗ハウスを活用して生産されており、もぎ取り園や農産物直売所で販売されている。また、近年新植する生産者が増えており、他の果樹の栽培面積が減少傾向にあるなか、微増傾向にある。

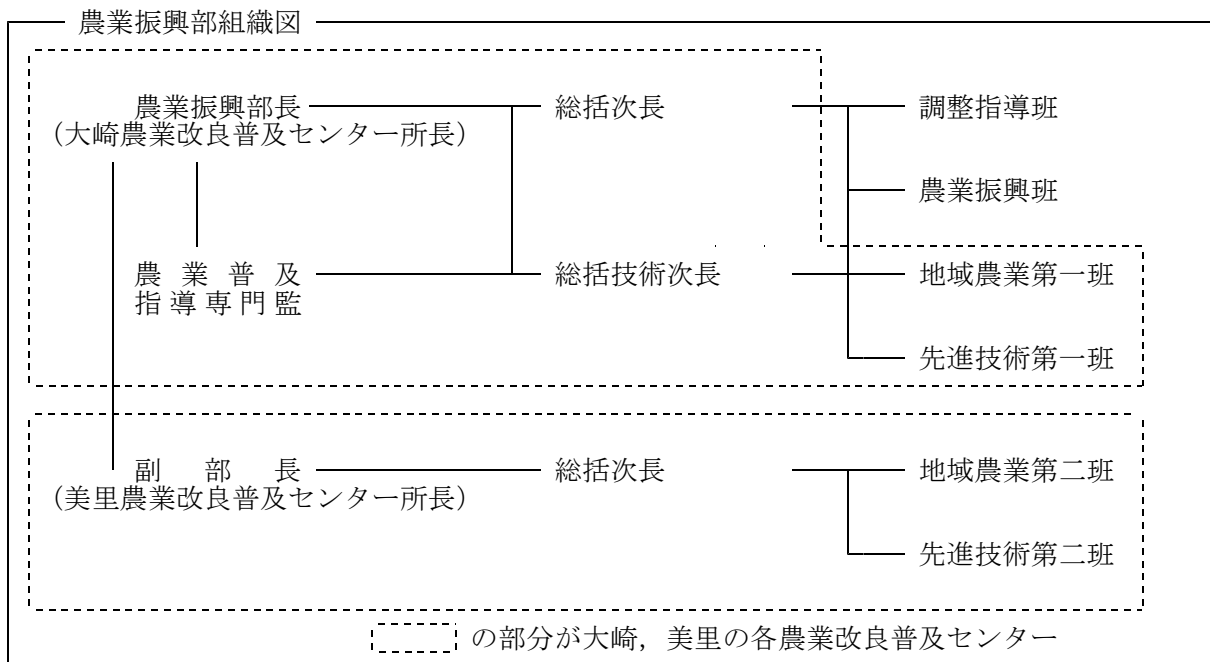
表11 主要果樹の栽培面積と生産地（令和元年） （単位：ha）

品 目	栽培面積	主な生産地
うめ	34.2	大崎市
りんご	28.2	色麻町, 加美町
ブルーベリー	4.3	大崎市, 加美町
ぶどう	4.1	大崎市
その他（くり、かき等）	37.2	－

宮城県農政部園芸振興室調べ（園芸特産データブック R2年3月発行）

(2) 普及センターの組織体制

北部地方振興事務所の農業振興部に位置づけられている。



◎ 現地活動体制

- ・課題毎にチームを編成して普及指導活動を行う。
- ・課題解決に当たって2班の機能を十分に発揮・連携しながら効果的，効率的な活動を行う。

＜地域農業班＞
地域農業の重点的な課題解決の支援に関する次の事項を分担 ■分掌事務 ○普及指導計画の策定及び実施に関すること ○普及センター活動に関すること ○農村振興に関すること（グリーン・ツーリズム等交流活動を含む） ○農作物の野生鳥獣害対策に関すること ○地域農業振興計画等の支援に関すること ○地域営農システム構築への支援に関すること ○中山間地域の特徴・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関すること ○人・農地プラン作成の支援に関すること ○農地中間管理事業に関すること ○農業経営基盤強化促進対策のうち，農用地利用調整等に関すること ○地域担い手育成総合支援協議会（市町村経営改善支援センター）及び地域農業担い手育成センターに関すること ○宮城県農業経営相談所に関すること ○地域農業を担う組織育成に関すること ○新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関すること ○青年農業者の育成に関すること ○女性農業者の育成に関すること ○農福連携に関すること ○経営所得安定対策及びその関連対策に関すること ○青年農業士，指導農業士に関すること ○普及指導協力委員活動の調整に関すること ○普及活動検討会及び研究会に関すること ○課題対象農業者の満足度調査に関すること ○表彰推薦に関すること ○農産物の展示会及び共進会に関すること ○他の班に属さない事務に関すること

＜先進技術班＞
先進的農業を担う経営体の育成に関する次の事項を分担 ■分掌事務 ○経営管理高度化の普及指導に関すること（経営） ○生産技術改善の普及指導に関すること（作物，野菜，果樹，花き，畜産） ○普及センター活動に関すること ○国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）の普及指導に関すること ○アグリテックの推進に関すること ○環境に配慮した，安全安心な農畜産物生産の普及指導に関すること ○農産物の流通及び利活用の普及指導に関すること（農産物利活用） ○アグリビジネス・6次産業化の推進に関すること ○農業労働改善の普及指導に関すること ○主要農作物の種子生産に関すること ○農業普及情報の収集及び蓄積，伝達に関すること ○試験研究開発技術の普及に関すること ○土壌分析の運営・管理に関すること ○オープンラボラトリーの管理運営に関すること ○経営所得安定対策のうち，特に高度な技術・経営の支援に関すること

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 地域農業班 0229-91-0727

先進技術班 0229-91-0726

FAX 0229-23-0910

電子メール/osnokai@pref.miyagi.lg.jp

URL /<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>